

第3回 もっと伝統工芸 備中漆展

新見市周辺は古くから漆の産地として知られ、良質の漆が採れていました。中世、新見は京都・東寺の荘園、「新見庄」として栄え、大量の漆を年貢として納めていたことが、ユネスコ世界記憶遺産に認定された「東寺百合文書」にも記載されています。また、備中漆は質もよく、仏像の修復にも使われたことが記録に残されています。

本展は、備中漆復興20年を記念し、平成26年にはじまった「もっと伝統工芸 備中漆展」の第3回展として、備中漆の生産地でもある新見市で開催するものです。

この展覧会では、日本伝統工芸中国支部の漆芸・木工会員を中心に、新見市で活動する漆芸の「地域おこし協力隊」2名も加え、28作家に新見産の漆を提供し作品制作を依頼、新作を中心におよそ60点を一堂に展覧します。

20年余りの歳月をかけて、様々な人たちによって育てられてきた「漆」。完成された作品によりその知識を深めてもらうとともに、地域ブランドとして今後どのように活用し全国に発信していくのか、それを問いかける場となれば幸いです。



井上みゆき《菫醬螺鈿蓮華文小箱》平成28(2016)年



高橋香葉《研出色絵平漆「春兆す・Ⅱ」》平成28(2016)年



前坂成哲《備中紅柄遊山菫醬色紙箱》平成28(2016)年



西山謙二《楓拭漆短冊箱》平成28(2016)年



藤川建然《神代櫨拭漆飾箱》平成28(2016)年



加藤萌《夜纏い》平成28(2016)年

関連イベント

■ オープニング・スペシャルギャラリートーク

要観覧料

2月11日(土) 10時～(約60分程度)

講師：塩津容子氏(漆芸家)、川野正毅氏(木工芸家)

■ 作品解説 各回14時～(約40分程度)

要観覧料

・2月19日(日) 高月國光氏(木工芸家) ・2月26日(日) 塩津容子氏(漆芸家)

・3月5日(日) 小松原賢次氏(漆芸家) ・3月20日(月) 川野正毅氏(木工芸家)

■ ワークショップ「My箸作り」

要予約

2月18日(土)、3月26日(日) 両日とも 13時30分～16時

講師：前坂成哲氏・加藤萌氏(漆芸家/地域おこし協力隊)

会場：新見美術館1階市民ギャラリー

対象：小学校高学年～一般

定員：両日とも15名(先着順)

会費：1,000円(材料代)

※用意するもの 汚れてもよい衣服

※完成作品は後日送付となります。

■ ワークショップ「ひな人形をつくろう！」

要予約

2月25日(土) 9時30分～12時30分

講師：ひな人形の喜峯

会場：新見美術館1階市民ギャラリー

対象：小学生親子～一般

定員：20名[組](先着順) 会費：1,000円

※招福雛又は幸喜雛のどちらかを作ります。

岡山県博物館協議会25周年記念イベント

「来んちやい 来られえ おいでんせえ」

■ 記念講演会Ⅰ

要申込・聴講無料

「備中漆：岡山の漆芸と木工芸」

3月4日(土) 14時～15時30分

講師：福富幸氏(岡山県立美術館主任学芸員)

会場：新見美術館1階市民ギャラリー

定員：50名(先着順)

■ 記念講演会Ⅱ

要申込・聴講無料

「夢二のふるさと岡山」

3月12日(日) 15時30分～16時30分

講師：小嶋ひろみ氏(夢二郷土美術館館長代理)

会場：新見美術館1階市民ギャラリー

定員：50名(先着順)

■ 岡山県博物館めぐりの旅パネル展

3月3日(金)～12日(日) ※月曜休館

9時30分～17時(入館は16時30分まで)

会場：新見美術館1階市民ギャラリー



- JR伯備線新見駅からタクシーで約5分
- 徒歩で約10分(徒歩)
- 中国自動車道新見インターから約7分
- 新見美術館までの順路(赤線)
- 無料駐車場があります(乗用車30台・バス2台)



新見美術館
NIIMI MUSEUM OF ART

〒718-0017 岡山県新見市西方361

TEL・FAX (0867) 72-7851

http://www.city.niimi.okayama.jp/usr/art/